



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

第 106 回国際大会報告書

(オーストラリア・メルボルン 2024 年 6 月 23 日ー6 月 25 日)

I. 国際役員の選出

6 月 23-25 日に MCEC (メルボルン・コンベンション&エキシビション・センター) で行われた投票で、本年度国際役員が別紙 1 の通り選出されました。

国際会長には、ブラジルのFabrício Oliveira、国際第一副会長には、インドのA. P. Singh、国際第二副会長には、アメリカ・コネチカット州のMark・S・Lyon、国際第三副会長には、ケニアのManoj Shah元国際理事が選ばれました。東洋東南アジア地域からの国際理事として、中国からDong Zhao元地区ガバナー(387地区 Shenyang Shangruo LC)、マレーシアからDato' Yeow Wah Chin元議会議長(308-B1地区 Kuala Lumpur Central LC)、韓国からEa-Up Kim元地区ガバナー(354-H地区 Goyang LC)が選出されました。

II. 2024-2025 年度国際理事会委員会

日本からの国際役員の所属委員会は次の通りです。

城阪 勝喜 国際理事	監査委員会 (委員長) 財務及び本部運営委員会 (副委員長)
濱野 雅司 国際理事	奉仕事業委員会 (副委員長)

III. LCIF 国際役員

山田 實紘 元国際会長	LCIF 理事 (第 5 会則地域 3 年任期の 3 年目) 開発委員会 (委員長)
鶴嶋 浩二 元国際理事	LCIF 理事 (第 5 会則地域 3 年任期の 1 年目) プログラム委員会 (委員)

IV. 国際会則の改正

6 月 23-25 日に MCEC (メルボルン・コンベンション&エキシビション・センター) で行われた投票により、上程された改正案はすべて可決されました。(別紙 2 参照)

V. 新国際会長の就任

閉会式でファブリシオ・オリベイラ新国際会長の就任セレモニーが行われました。新国際会長の略歴は別紙 3 の通りです。カラー顔写真は国際協会 HP (日本語版) からダウンロードしてください。

国際会長【写真】ダウンロード先:

https://www.lionsclubs.org/sites/default/files/inline-images/Oliveira_Fabricio_2024.jpg



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2・4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

引き続き国際テーマは『ウィ・サーブ』、

ファブリシオ国際会長は個人のテーマを「^{そくせき}足跡をしるす (Make Your Mark)」としています。

詳しくは次の国際協会ウェブサイト（日本語版）URL からダウンロードしてください。

LCI 公式ウェブサイト国際会長テーマ掲載ページ：

<https://www.lionsclubs.org/ja/discover-our-clubs/presidential-theme>

ビデオ掲載先：

<https://www.youtube.com/watch?v=HmRHWq3dRDI&t=7s>

VI. 国際コンテスト

インターナショナル・パレードについて日本からの入賞は次の通りです。

<国際パレード>

第1部門コンテスト（代表団のグループ）

精度デモンストレーション・ユニット

1 位： 日本 ZEN 燃（Japanese Dance/Culture Team in Melbourne）

VII. 表彰

(1). ライオンズ人道主義大賞（Humanitarian Award）

エイズ大流行の最前線であるサハラ以南のアフリカにおいて、地域の草の根組織と協力し、エイズ撲滅に向けて、人々の健康と人権を守るための活動を進めている「スティーブン・ルイス財団」が授賞しました。共同創設者であるイラナ・ランズバーグ＝ルイス氏が登壇され、エイズの被害を受けた女性たちを支援するのにもまた現地の女性たちであり、特に高齢女性への支援をどこの組織も行っていなかったことをきっかけに草の根組織の女性リーダーへの支援や、祖母たちの国境を越えた提携である『グランドマザー・トゥ・グランドマザーキャンペーン』についてお話しされました。スピーチ後には会場の祖母・祖父であるメンバーを讃えられました。今後の支援に 25 万ドルが贈呈されました。「スティーブン・ルイス財団」については以下をご参照下さい。

別紙 4：国際協会公式ウェブサイト掲載ページ

スティーブン・ルイス財団（英語）

<https://stephenlewisfoundation.org/>



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

(2). 国際平和ポスター・コンテスト

2023-24 年度国際平和ポスター・コンテスト大賞は、ファンジン・シさん（陝西ダタンライオンズクラブスポンサー・中国）、日本からの優秀賞受賞は池邊 刀俐さん（東大阪大東囃ライオンズクラブ スポンサー）です。入賞作一覧は以下よりご欄いただけます。

<https://www.lionsclubs.org/ja/start-our-approach/youth/peace-poster/current-winners>



池邊さんの作品です。

(3). 国際作文コンテスト

視覚障がいのある青少年を対象とした 2023-24 年度国際作文コンテスト大賞は、イエトカ・ヤギズ・デミルタス君（イスタンブール・アルティネペ・ライオンズクラブスポンサー・トルコ）が受賞しました。

全文は以下 URL よりご覧いただけます。

https://cdn2.webdamdb.com/md_ELF0BpsWpq21UCQ9.jpg.pdf?v=1

大賞受賞者の二人は開会式で登壇し、国際会長よりトロフィーと賞金 5000 ドルが贈呈されました。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2・4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

VIII. 初日総会 (6 月 23 日)

初日総会はオーストラリア先住民であるアボリジニの演奏で幕を開け、歴代 PIP の紹介と続きました。その後、パティ・ヒル国際会長が登壇しご挨拶され、司会のシリルとともに進行を担いました。

VIC 州議員ニック・スタikos氏やメルボルン市副市長ニコラス・リース氏が登場し、大会開催の感謝の言葉とともに、ライオンズおよびレオの今後の活躍への期待と重要性を述べました。

また国際平和ポスターと作文コンテスト受賞者の紹介と盾および 5,000 米ドルの賞金の授与が行われました。

パティ・ヒル国際会長は、この 1 年間に主に取り組んできた環境保護や Mission1.5、また SNS を通じた活動の PR について VTR 紹介とともに語りました。インドの新婚カップルへの補助、イタリアで起きた洪水による森林壊滅を 500 本の植樹で支援し土壌浸食を防いでいること（その森は「メルビン・ジョーンズの森」と呼ばれている）、香港マカオの林業の学び支援、等々・・・そして、多様性に必要な新たな知識の習得と、ひとりひとりの奉仕への意識改革、リーダーシップとメンバーシップの育成が重要だと説きました。

その後、指名委員会委員長アレクサンダー元国際会長より最終報告として昨日のビジネスセッションの報告と、選挙についての説明が行われ、2024-25 年度国際第 3 副会長候補者 2 名（L. マノージ・シャー、L. アレクシス・ビンセント・ゴメス）の選挙演説およびインスタレーションが行われました。

最後は 194 カ国の国旗掲揚で幕を閉じました。

IX. 二日目総会 (6 月 24 日)

二日目総会ではオーストラリアの動物学者であるマイク・ハンフリー氏がコアラやカンガルーなどオーストラリア固有種の動物と共に登壇し、パティ国際会長の重点分野である環境保全への取り組みを訴えました。

パティ国際会長のスピーチとハッシュタグを使った SNS への投稿の呼びかけの後、会場でバンド演奏を行っている方が入会を果たした報告と、35 年間にわたり国際大会において手話通訳に携わっているイーディ・ミスケル氏が紹介されました。

その後 LCIF 理事会・役員、LCI 国際役員が紹介されました。

基調講演では 4 名のパネリストが登壇しました。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ・クリス・ハドフィールド氏 | (宇宙飛行士) |
| ・アレクサンドラ・クストー氏 | (探検家 & 海洋保全活動家) |
| ・マリタ・チェン氏 | (テクノロジー起業家) |
| ・ホリー・ランサム氏 | (世界的講演者) |



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2・4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

オーストラリアで影響力の最も大きい女性 100 人の 1 人にも選ばれているホリー・ランサム氏が司会を担当し、ビジョンを持ったリーダーシップとその実現について、世界を変えていくことについて等、対談形式で基調講演が行われました。
各パネリストについては別紙 5 をご覧ください。

基調講演の後、ブライアン・シーハン LCIF 理事長の年次報告と表彰などが行われました。2023-24 年度における LCIF への寄付額は当初の発表では 6830 万ドルでしたが、FACEBOOK でのライブ配信や、会場のスクリーンに QR コードを映し出し、リアルタイムで現在の寄付額が数回にわたり紹介されたことが功を奏し、最終的には 7500 万ドルとなり、拡大目標である 7000 万ドルを上回る結果となりました。

日本からは 10 万ドル以上の寄付者として川島正行元国際理事、ダイヤモンド理事長賞（地区として 100 万ドル以上）として 334-A 地区が表彰され、代表として 334-A 木野村好己ガバナーと、334-A 原口秀樹 LCIF 委員会委員長（MD334LCIF 副コーディネーター）が登壇されました。

LCIF 事業紹介ではまず小児がんへの取り組みの紹介が行われ、テキサス小児がんセンターの専門医であり、LCIF とパートナーシップを結んでいるグローバルホープの理事をつとめ、本人もライオンズクラブメンバーである、ジョセフ・ルベガ医師が登壇し、アフリカでの小児がんへの取り組みの紹介と支援の呼びかけを行いました。

LCIF より支援を受け小児がんを克服した、ウガンダのデザイア・ナマージさんが登壇し、昨年度よりがん患者とその家族の心の健康のための支援を自分でも行っていることと、開業医になり患者の命と生活の支えになりたいと目標を語りました。

続いて UNODC(国連薬物・犯罪事務所)とのパートナーシップ 10 周年を記念し、ガーダ・ファトヒー・ワーリー事務総長からのビデオレターが上映され、薬物乱用防止と若者への支援についてお話しされました。

なお、ワーリー事務総長は 2022 年に来日された際に外務省にて意見交換会を行い、日本ライオンズ村木理事長（当時）が日本のライオンズを代表して参加しました。詳しくは以下のライオン誌記事をご覧ください。

<https://www.thelion-mag.jp/2209ne01>

パートナーシップ団体として、食料支援を行っている World Food Programme と、サイトフォーキッズプログラムを通じ子供たちへの支援を行っている J&J が紹介されました。

今年度 LCIF では災害支援として 1,200 万ドル以上の交付金が支給されたことと、世界各地での災害支援の取り組みが紹介され、能登半島沖地震における日本のライオンズ・レオの支援活動についても紹介されました。テキサスの山火事の支援の紹介では会場に炎の映像が投影され、参加者の視覚に災害の悲惨さを訴えました。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

その他 LCIF の重点目標の報告として、来年はヘレンケラーの呼びかけより 100 周年であることや、糖尿病支援への交付金の金額が報告されました。

国連とのパートナーシップを担当しているアル・ブランデル元国際会長より、国連ライオンズデーのハイライトと国連の設立以来のパートナーシップについて紹介され、パートナーシップ強化の感謝を込めてパティ国際会長へ国連旗が手渡され、アドボカシープログラムである、各団体とのパートナーシップの強化が呼びかけられました。

その後追悼式、人道大賞受賞者の紹介とスピーチが行われました。

X. 最終日総会 (6 月 25 日)

パティ国際会長の開会宣言の後、決議委員会委員長であるアル・ブランデル元国際会長より報告が行われました。

続いてミッション 1.5 初年度の取り組みとして、国際協会執行役員からなる特別委員会より 1 年の報告と、2027 年までの目標の達成を目指し、力強いメッセージ送られました。

ミッション 1.5 関連のアワード受賞者が会場のスクリーンにて発表され、日本からは鶴嶋浩二元国際理事が、最も多くの会員をスポンサーした 150 人に送られる、ミッション 1.5 会員ロックスター賞を受賞されました。

決議事項の報告、投票総数と選挙結果の発表が行われました。

新会長紹介ビデオが上映されたのち国際会長交代セレモニーが行われ、ファブリシオ新会長が誕生しました。演説の中でファブリシオ国際会長は自身のテーマについて 4 項目を挙げて説明され、ライオンズクラブはただのボランティアではなく、奉仕の起業家であると呼びかけました。

新会長の演説の後、投票で選ばれた新執行役員と国際理事が発表され、そのうち執行役員が登壇しました。

最後にエレクトセレモニーが行われ、第 106 回メルボルン国際大会は幕を閉じました。

XI. 参加代議員及び補欠数 (6 月 25 日閉会式発表)

6 月 25 日閉会式時点の発表では、全世界からの投票代議員数は 3007 名でした。日本からの代議員数等は、秋季国際理事会にて公式に発表される予定です。

XII. メルボルン国際大会の大会登録者数

日本ライオンズ国際大会委員会に寄せられた報告によると、日本からの登録者数は 6 月 10 日時点で 1,116 名でした。

6/23 開催 地区の管理セミナーにてマーズ事務局長より、日本の登録者数はアメリカについて 2 位であり、その差はわずか 10 名ほどであったと発表がありました。

全世界からの登録数、日本からの登録数について、公式な登録数は例年秋季国際理事会にて発表される予定です。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

XIII. 各種セミナー・会議

今大会では日本語セミナーは地区の管理セミナーのみとなり、各日総会およびビジネスセッション、24 日に行われたミッション 1.5 セミナーでは同時通訳が提供されました。

日本を含む英語圏以外の会員は各自で自動翻訳アプリなどを用意し、セミナーへ臨みました。

(1)指名委員会会議 (6 月 21 日)

委員長であるダグラス元国際会長の司会で進められました。国際協会が指名する候補者が会則地域ごとにステージへ登壇し、投票用紙に名前を掲載する順番を決めるくじを引きました。

(2)ビジネス・セッション (6 月 22 日)

パティ国際会長のあいさつの後、議事規則委員会より議事規則についての説明があり、タイムキーパーの紹介等が行われました。

その後代議員投票について日時や場所、ルールの説明があり、指名委員会より予備報告として、国際第一副会長、国際第二副会長の指名が行われました。

各国際理事候補者の指名が行われ、各理事候補者及び推薦者 1 名が登壇、スピーチを行いました。OSEAL からは 3 名の候補者とその支援者が登壇し、合わせて 2 分以内でスピーチを行いました。

(3)地区の管理-地区ガバナーエレクト対象の特別プログラム (6 月 23 日)

DGE およびそのチームのためのセミナーが開催されました。

DGE35 名のうち、31 名の出席がありました。

事前に参加の呼びかけが行われていたこともあり会場は超満員となり、急遽席が追加されての開催となりました。

OSEAL 調整事務局・マーズ事務局長が司会を担当され、
山田元国際会長・鶴嶋国際理事・城阪国際理事・濱野国際理事・鈴木 LCIF 理事・小川・松岡両 GAT エリアリーダー・識名次期 GAT リーダー、濱島グループリーダーが登壇されました。

登壇者の紹介、セミナーの目的の説明の後、山田元国際会長からの DGE への激励や、国際理事より直前に行われたメルボルン国際理事会での決議についての説明と報告が行われました。

主な理事会での決議報告として、

- ・国際大会開催地の報告 (2026 年香港・2030 年テキサス州サンアントニオ・2031 年ヘルシンキ)
- ・国際理事会の構成の変更について
- ・国際理事会におけるコンプライアンス研修の強化
- ・グローバル奉仕目標の追加と変更について

などが報告されました。

続いてミッション 1.5 への取り組みの呼びかけが行われ、日本での支部クラブのエクステンションの成果が認められ、次年度より支部エクステンションプログラムが国際協会に設置されることが



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

報告されました。

次年度 GAT の組織について、副エリアリーダーの設置についてなどの説明等があり、第2副地区ガバナー研修グループリーダーが新設されることや、地区ガバナー予算や会員増強補助金について説明が行われました。

今後の予定として、

7/22-23 LCIF コーディネーター研修会（名古屋）

7/30-31 ミッション1.5 サミット（名古屋） AP シン国際第I副会長来日

への参加が呼びかけられました。

その他発表された予定は以下の通りです。（日程は現時点での情報です）

11/25-28 ファブリシオ・オリベイラ国際会長公式訪問（大阪）

10/7-10/9 第2副地区ガバナー研修会

12/1-12/3 第1副地区ガバナー研修会（2月にも開催予定）

11/1-4 LCIF 研修会（バンコク）

2025年2月 FDI 研修会（ベトナム）

セミナー後には次期議長予定者セミナーが行われ、次期議長のうち7名が参加しました。

(4)多様性のためにあなたの声を活かそう（6月23日）

アドボカシーについてのセミナーとなり、ダグラス元国際会長の司会で進行され、パネリストとしてマリー・カニング国際理事、サンギータ・シャディア元国際理事をはじめ、4名の国際理事・元国際理事が登壇されました。

まずはダグラス元国際会長がライオンズ国際協会におけるアドボカシーの定義とその重要性について説明され、パネリストより具体的な取り組みについてお話しされました。

スイスのロバート・レテビー元国際理事による、ジュネーブでライオンズが国連とのイベントに関わった経験を初め、他組織とのパートナーシップ・コラボレーションを通じて奉仕の可能性を広げることや、SNSを通じてライオンズの奉仕を世界の人へ知ってもらうマーケティング・ブランディングの重要性が説明され、ミッション1.5におけるアドボカシーの重要性についても強調されました。

(5)ミッション1.5 多様性を通じて会員を拡大しよう（6月23日）

会員増加を目標に、多様性を資産として活用した経験談をSNSの活用事例とともに3名のパネラーが紹介しました。障害者向けのコーディネイターも務めるガバナーや、アルバニア人の言語問題をはらむ新メンバー、アフリカ初のクラブなど、まさに多様性の中でどのように会員獲得に向け尽力したかのお話が披露されました。若手パネラーの影響かテーマ性の問題か、セミナーに参加していたメンバーも比較的若い年齢層でした。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

(6)ゾーンチェアパーソンセミナー (6月24日)

専門チーム4名が登壇し、ゾーンチェアパーソンの任期開始前からの活動準備の内容や心構えといった具体的な事例をPPTを用い説明を行いました。年間計画の立て方や、ガバナーやGATコーディネイターとの関係性、必要なデータの管理、そしていかにメンバーのモチベーションを持続し上げていくか、SNSの活用の勧めなど、多岐に渡る役割について充実の内容を紹介しました。

現在国際協会は、ゾーンチェアパーソンなど、各役職の学習に必要なガイドやツール、リソースをまとめたWebページを立ち上げており、活動に有効なすべてのリソースが集められていると、その活用を勧めています。

[会員リソースセンター | ライオンズクラブ国際協会 \(lionsclubs.org\)](https://lionsclubs.org)

今回のこのプレゼンテーション資料も、8月中旬から下旬の公開に向け、各国言語に翻訳される予定だと話していました。1年中使用できるツールになるため、ネットで探すようにと案内していました。ガイドとなる「e-Book」も変化にあわせ更新していくので、常に最新か確認し活用するようにと案内していました。

参加者は高齢の方が多く見受けられましたが、登壇者の問いかけに積極的に応えるなど前向きな姿が見られました。

(7)目標達成のため障害を取り除こう (ミッション1.5 関係) (6月24日)

ネパールで100以上のクラブをエクステンションした実績を持つバルクリシュナ国際理事と、マレーシアのエヴァ・ウォン元地区ガバナーが登壇され、貧困など地域における困難を乗り越え地元の自治体との提携を行い会員を増やしたことや、若い会員と先輩会員のわだかまりの解消について、スマートフォンやSNSを駆使して若い会員や女性会員を増やし、入会後に活躍してもらった方法についてお話しされた他、参加者との質疑応答や、参加者からの成功体験の共有が行われ、2027年まで頑張ろう、と呼びかけが行われました。

(8)ソーシャルメディアとマーケティング活用セミナー (6月24日)

クラブのマーケティング委員長へ向けたセミナーで、本部マーケティング部とリーダーシップ開発部により進行されました。資料や交付金などリソースの紹介や、イベントの案内作成についても実例を示し詳しく紹介されました。

(9)ミッション1.5 挑戦を受け入れよう (6月24日)

サンジブ・アフジャ事務総長を進行役に、ミッション1.5のリーダーであるパティ・ヒル国際会長、ファブリシオ・オリベイラ第一副会長 (CA3, 8 担当)、A. P. シン第二副会長 (CA4, 5, 6 担当)、マーク・S・ライオン第三副会長 (CA1, 2, 7 担当) の4名のリーダーが登壇しました。

パティ・ヒル国際会長から、すでに掲げられているミッション1.5に取り組む理由、目的、メリットなど、セミナー参加のメンバーたちへと熱く伝えられました。

[ミッション1.5 | ライオンズクラブ国際協会 \(lionsclubs.org\)](https://lionsclubs.org)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

すべての地区で必ず 1 つのクラブを作り、1 つのクラブで 1 人の新会員に入会してもらい、そのためには広告ツールである YouTube も活用し、できるだけ多くのクラブにこの取り組みを伝えるようにと話されました。それは奉仕を広げるため、増大するニーズを満たし、多くの人々へのサービス提供に応えるために必要なことだと語りました。

他の 3 人のリーダーたちは加えて、ミッション 1.5 成功へ向けてのわれわれ各自の意識の持ち方や、これからどのように行動すれば良いかの指針を自身の体験談と重ね訴えました。セミナーや例会開催では会員が増えることはなく、実際に声がけすることの重要性とそのために必要となる資料やトレーニングツール、またアワードの用意があることも紹介されました。

「一人で行動しても一緒に成長することはできない」。

リーダーを支援し、鼓舞し緊密に協力し、また新しい戦略と分析、インセンティブを見つけ、前向きに行動するために必要な行動はすべて試みようと言いました。

セミナー内で上がった数字は以下の通りです。

【会員更新】 ※2023. 5. 31. から 2024. 5. 31. 時点の比較

<u>1 2 9, 5 5 0</u> 人	既存クラブへの新会員数 (22-23 年度から 6%増加)
<u>3 7</u> %	4 5 歳未満の新会員率 (22-23 年度から 6%減少)
<u>1, 7 2 6</u> クラブ	新クラブ数 (22-23 年度から 33%増加)
<u>4 0, 9 5 0</u> 人	純会員数増加 (22-23 年度から 55%増加)

【2024-2025 目標】 世界目標 ※目標期間は 7/1~6/30 まで

<u>2 4 8, 7 4 2</u> 人	新会員数目標
<u>2, 6 4 4</u> クラブ	新クラブ数目標
<u>6 1, 9 5 6</u> 人	純会員増加目標

(10)ニューヴォイス！ (6 月 24 日)

会場に円卓が用意され、ディスカッション形式で行われました。

テーブルごとに異なる議題が与えられ、ディスカッションの結果が各テーブルの代表者より発表されました。

ディスカッションと発表を通じて、新会員のみではなくすべての会員 1 人 1 人が新しい声をもっており、声をあげる必要があること、誰かの新しい声になることができること、すべての人の新しい声に耳を傾ける必要があること、この部屋の中でもたくさんの新しい声が上がったことへの喜びが伝えられました。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2024-25-C-01>

XIV. 今後の国際大会の日程と開催地（地区の管理セミナー内での発表）

<第 107 回>	2025 年 7 月 4～8 日	メキシコ・メキシコシティ
<第 108 回>	2026 年	香港
<第 109 回>	2027 年 7 月 2～6 日	米国ワシントン DC
<第 110 回>	2028 年 6 月 23～27 日	シンガポール
<第 111 回>	2029 年 6 月 29～7 月 3 日	米国ミネアポリス
<第 112 回>	2030 年	米国テキサス州サンアントニオ
<第 113 回>	2031 年	フィンランド・ヘルシンキ

2024 年 6 月 28 日

一般社団法人 日本ライオンズ

2 0 2 4 国 際 大 会 選 出 役 員

国際会長	ファブリスオ オリベイラ Fabrício Oliveira (ブラジル)
国際第一副会長	エー ビー シン A. P. Singh (インド)
国際第二副会長	マーク S. ライオン (米国・コネチカット) Mark S. Lyon
国際第三副会長	Dr. マノジ シャー (ケニア) Dr. Manoj Shāh
国 際 理 事	
アメリカ合衆国およびその領域、 バーミューダおよびバハマ (5名改選)	Robert "Ski" Marcinkowski (米国・アラスカ) Bert A. Nelson (米国・ミネソタ) Debbie Cantrell (米国・ミズーリ) David W. Wineman (米国・ミシガン) Chris Carlone (米国・ルイジアナ)
南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ およびカリブ海諸島 (1名改選)	Luis Caro Chong (ペルー)
ヨーロッパ (3名改選)	Lorena Hus (スロベニア) Guy-Bernard Brami (フランス) Dr. Kari Brewi (オーストリア)
インド、南アジア、アフリカおよび中東 (4名改選)	Magesh Shanmugan (インド) Raj Kumar Agarwal (インド) Ramesh Prajapati (インド) Pankaj Mehta (インド)
東洋東南アジア (3名改選)	Dong Zhao (中国本土) Dato' Yeow Wah Chin (マレーシア) Ea-Up Kim (韓国)
オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ ニューギニア、インドネシアおよび南太平 洋諸島 (1名改正)	Graeme Wilson (ニュージーランド)
アフリカ (1名改選)	Bridget Adetope Tychus (ナイジェリア)

以上



可決

公式通達

2024 年国際大会（オーストラリア・メルボルン）

以下の国際会則及び付則改正案が
2024 年国際大会において提出され、代議員による票決の対象となります。

第 1 項：会員が第二副地区ガバナー職への就任資格を得るために使用できる地区キャビネットの役職を拡大し、グローバル・アクション・チームおよび地区 LCIF コーディネーターの役職を含める決議案。（付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要）

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第 9 条 6 項(c)(3)(b)を全文削除し、以下と差し替える。

ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、地区グローバル・エクステンション・チーム・コーディネーター、地区グローバル指導力育成チーム・コーディネーター、地区グローバル会員増強チーム・コーディネーター、地区グローバル奉仕チーム・コーディネーター、地区 LCIF コーディネーター、あるいはキャビネット幹事及び（又は）会計として全期又は過半の期間務めた者でなければならない。

第 2 項：地区再編成に先立ち、特定の基準を満たしている準地区の承認を要件とする決議案。（付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要）

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第 8 条 3 項第 2 文を全文削除し、以下と差し替える。

一つまたはそれ以上の準地区の整理統合を希望するすべての複合地区は、その影響を受ける会員数 1,000 人以上の地区、または会員数 1,000 人未満で過去 2 年間の平均純増率が 1%の地区、および複合地区の大会において、過半数の票により承認された地区再編成案を国際理事会に提出する。

ファブリシオ・オリベイラ
国際会長

ファブリシオ・オリベイラ（ブラジル・パライバ州カトレドホシャ）は、2024年6月21日から6月25日にかけてオーストラリア・メルボルンで開催されたライオンズクラブ国際協会の第106回国際大会で、同協会の国際会長に選出された。

ファブリシオ国際会長は実業家で、ジェットゥリオ・ヴァルガス財団（FGV）大学で経営管理学の修士号を取得、経営学の学位もある。

1985年にカトレドホシャ・ライオンズクラブに入会して以来、クラブ会長、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、地区ガバナー、協議会議長、国際理事など、数々の役職を歴任してきた。さらに、地区 LCIF 委員長、視力ファースト委員長、指導力育成委員長、複合地区 DGE セミナー・コーディネーター、地区ライオンズ財団理事長を務めたほか、地区ガバナーエレクト・セミナーのグループリーダーを2回務めている。

国際協会への貢献が認められ、これまでに 100%クラブ会長賞、エクステンション賞（9つの新ライオンズクラブを結成）、国際会長感謝状 19 回、パラダイム・アワード、リーダーシップ賞 9 回、国際会長賞 14 回、国際理事表彰アワード、さらには国際協会より会員に与えられる最高の荣誉である親善大使賞など、多くの賞を受賞。キー賞（30 人の新ライオンズ会員の入会を支援）、エクステンション賞状（5つの新レオクラブのスポンサー）、グローバル・ビジョン・メダル（視力ファーストへの取り組み）、LCIF 援助の手アワードも受賞しており、累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンズでの活動以外にも専門分野や地域社会に関わるさまざまな団体で活躍しており、パライバ州商工局長官、いくつかの企業の経営協議会議長、全国小売業者連盟理事長、パライバ州小売業者連合会長、カトレドホシャ小売業会議所所長、エルミニア・エヴァンジェリスタ小児科病院の研究所を支援するマノエウ・ヴィットリアーノ・デ・フレイタス財団理事長などを務めてきた。

同じくカトレドホシャ・ライオンズクラブの会員で、メルビン・ジョーンズ・フェローでもあるアマリレス夫人との間に三人の子どもがあり、孫娘も一人いる。

問い合わせ先：
ショウナ・シウダ
ライオンズ・インターナショナル PR 課長
+1 630-468-7075
Shauna.Schuda@LionsClubs.org

即時リリース用

ライオンズ・インターナショナルの人道支援大賞に
スティーブン・ルイス財団

(米イリノイ州オークブルック) - スティーブン・ルイス財団が、今年 6 月に行われる第 106 回ライオンズクラブ国際大会にて 2024 年ライオンズ人道支援大賞を受賞することが決まりました。今回の受賞は、同財団の人道的社会貢献とエイズ撲滅に向けた保健および人権推進への献身をたたえるものです。[スティーブン・ルイス財団](#)の共同創設者であるイラナ・ランズバーグ＝ルイス氏が授賞式に出席します。

スティーブン・ルイス財団は、女性、少女、祖母たち、孤児や弱い立場にある子ども、LGBTIQ コミュニティ、そして HIV の人々の自立を助ける地域主導の各団体と提携し、サハラ以南アフリカの 14 カ国で HIV 蔓延対策の最前線に立っているこれらの団体に直接資金を提供しています。

「エイズ大流行の最前線に臨む草の根組織で活躍するアフリカの女性リーダーと協力し、彼らから学ぶことこそ、我々スティーブン・ルイス財団のコアバリューの核心です」と、財団共同創設者のイラナ・ランズバーグ＝ルイス氏は言います。「私たちの願いは、彼らの声と専門知識を拡大することです。私たちは、彼らが掲げる優先事項や構想に応答するような確かな支援を与え、彼らの持つアドボカシー、力、深い知識、不屈の精神、粘り強さが、不可欠な変革の力として認められることを目指しています。」

ライオンズ人道支援大賞は国際協会の最も栄誉ある賞であり、賞賛すべき人道奉仕活動を行っている個人や組織に授与されます。授賞と同時に、今後の人道奉仕活動の資金として、[ライオンズクラブ国際財団](#) から慈善団体に最大 25 万ドルの交付金が交付されます。スティーブン・ルイス財団は、マザー・テレサ、ジミー・カーター元米大統領、シェフで人道主義者のホセ・アンドレスなど、錚々たる過去の受賞者リストに名を連ねることになります。

ライオンズ・インターナショナルのパティ・ヒル会長は次のように述べています。「この賞をスティーブン・ルイス財団に贈呈できることを心から光栄に思います。同財団のリーダー、寄付者、ボランティアは、サハラ以南のアフリカの家庭を HIV/エイズによる偏見や貧困から解放し、未来を築き、今後何世代にもわたる希望を生み出そうと尽力しています。『[グランドマザー・トゥ・グランドマザー](#)』キャンペーンを含む財団の

活動は、愛と強さのオアシスを生み出し、世界中の地域社会に広がる思いやりのタペストリーを織り上げています。まさに、一人ずつの人生から世界を変えているのです」

2006 年以来、カナダ、アメリカ、オーストラリア、英国の祖母たちや女性高齢者たちが、このキャンペーンを通じてアフリカの祖母たちと連帯しています。何千人もの会員が多額の資金（4,000 万ドル）を集め、エイズで両親を亡くした子どもたちを世話する祖母たちを支援し、その人権を主張するため声を上げています。「彼らが休むことができるまで、私たちは休まない！」を合言葉に集結しているのです。

ライオンズ人道支援大賞の詳細と過去の受賞者リストは
<https://www.lionsclubs.org/ja/humanitarian-winners> でご覧いただけます。

ライオンズ・インターナショナルについて

ライオンズ・インターナショナルは、世界最大の奉仕クラブ組織です。49,000 余りのクラブに属する 140 万人以上の会員が、世界 200 の国と地域で奉仕しています。1917 年以来、ライオンズは労力奉仕と人道事業を通して各地域社会を強化してきました。ライオンズクラブ国際財団の惜しみない支援により、私たちはその奉仕のインパクトをさらに拡大しています。視力保護、環境保全、小児がん、食料支援、糖尿病、さらにその他の切迫した人道的ニーズに集中的に取り組むことで、人類が直面している最大の課題の克服に貢献しています。ライオンズ・インターナショナルの詳細については、ウェブサイト (lionsclubs.org) をご覧ください。

スティーブン・ルイス財団について

20 年以上にわたり、スティーブン・ルイス財団は資源を地域社会の手に委ねることで、国際開発と慈善活動における従来の権力構造に立ち向かってきました。サハラ以南のアフリカでは、人種主義、男女不平等、植民地主義によって加速された HIV 蔓延が今なお公衆衛生上の緊急事態となっています。地域社会主導の解決策を信条とするスティーブン・ルイス財団では、希望を回復し、人権を取り戻し、不正義と闘い、命を救っている地域団体に資金と援助を提供しています。

###

国際大会はライオンズ年間最大の行事であり、私たちのこれまでの歩みと、現在の位置、そして何より、これから向かう先を確認する機会です。私たちライオンズは、生きる目的を持っています。世界をより良い場所に変えるという目的を持って奉仕しています。6月24日（月）の二日目総会には、リスクをいとわず挑戦を続けてきた世界レベルのパネリストたちをお迎えします。どのパネリストも、問題解決にける情熱と、チームワークへのこだわり、そして世界を変えることへの使命感を帯びた、著名なリーダーです。そうそうたる革新者たちを第106回ライオンズ国際大会の総会ステージに迎えられることは大きな名誉です。



クリス・ハドフィールド
宇宙飛行士
基調講演パネリスト

クリス・ハドフィールド大佐は、カナダ軍の戦術的戦闘機パイロットを務めた後、NASAの宇宙飛行士およびオペレーション責任者としてのキャリアを歩み始めました。5冊の著書があり、SpaceXとVirgin Galacticの両方のアドバイザーを務める同氏は、カナダ勲章、メトリアス・サービス・メダル（米勲章）、NASAのExceptional Service Medalなど、多くの賞を受賞してきました。

アレクサンドラ・クストー
探検家 & 海洋保全活動家
基調講演パネリスト

アレクサンドラ・クストー氏にとって、冒険はファミリービジネス（家業）です。彼女の活動は保全を超え、大陸をまたいで旅することで、私たちの地球が直面する様々な環境問題に新たな光を当て続けています。



マリタ・チェン
テクノロジー起業家
基調講演パネリスト

マリタ・チェン氏は2012年に「ヤング・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー（今年の若きオーストラリア人）」を受賞して以来、テクノロジーとロボットの分野でダイナミックな活動を続けています。Aubotの創設者でありCEOでもある同氏のテレプレゼンスロボットは、がんを患う子供たちの就学を支援し、障害者の出勤を可能にし、高齢者の家族が訪問と安否確認を行う新しい方法を提供しました。Aubotはまた、ロボットアーム、バーチャルリアリティ、自律航法の研究開発にも取り組んでいます。

ホリー・ランサム
世界的講演者
基調講演モデレーター

高名なソートリーダーであり人気の講演者でもあるホリー・ランサムは、有意義な対話を促すその手腕で世界的に知られています。どんなイベントもパワフルな思考の旅に変えてしまう、国際レベルのホスト／パネリストモデレーターです。彼女の活動は国内外で認められ、「オーストラリアで影響力の最も大きい女性100人」の1人に選ばれています。





2024~2025年度 国際会長
ファブリシオ・オリベイラ

足跡をしるす

ライオンズは誰もがリーダーです。

そしてリーダーは知っています。人々が強い信念を持って、ともに行動すれば、コミュニティ全体が動き、変わることを。そして、その生き生きとした元気な地域社会をつくりだす過程で、私たちは足跡(そくせき)をしるしています。

私たちリーダーは、クラブを通じて、そして奉仕という使命を通じて、人と人を結びます。コラボレーションを促すことで、誰もが無理だと言うことをやっつけてのけます。イノベーションを採り入れることで、大胆な奉仕のビジョンを実現します。志のある人を奉仕に誘うことで、ライオンズとして一緒に活躍するチャンスを与えます。そして、新会員を一人増やすたびに、奉仕の未来に足跡をしるしているのです。

力を合わせて、私たちは助けを必要としている人に手を差し伸べます。ともすればかき消されてしまう声を、大きくして届けます。ライオンズにしかできない方法で、人の暮らしを変えます。こうして出会う人たちの人生、奉仕する地域社会に、私たちはいつまでも残る足跡をしるしているのです。



未来を形作ろう

ともに私たちの足跡をしるす

毎日がライオンズとしての足跡をしるすチャンスです。ですから、行動を起こしましょう！以下の国際方針に目を通し、ライオンズを、そして私たちが奉仕する地域社会を強化するために、どうやってこれを実践していけるか、考えてみてください。

もっと多くを与えるために成長しよう

奉仕の必要性が高まるに伴い、私たちも成長する必要があります。新会員を招き入れ、新クラブを結成することによって、ミッション1.5の目標を達成しましょう。私たちの地域社会に、より多くのライオンズによる、より多くの奉仕をもたらし、世界で年間10億人への奉仕を実現しましょう。

力を合わせてもっと強くなろう

私たちのグローバルな財団は、ライオンズの奉仕を支援し、世界に永続的な変化をもたらせるように活動しています。ですから、いつでも、どこでも、力を合わせて奉仕する態勢を整えられるよう、LCIFをサポートしましょう。

次のステップを踏み出そう

クラブと奉仕を拡大し、ライオンズとしてもリーダーとしても成長するため、リーダーシップ開発の機会を最大限活用しましょう。クラブ内で、地域社会で、奉仕を前進させるためリーダーシップを発揮する新たな機会を探してください。

地域社会でのイメージアップを図ろう

ライオンズの活動は非凡なものです。優れたマーケティングやPRを行うことで、ストーリーを伝え、地域社会の耳目を集め、イメージを向上させることができます。ですから、あなたの奉仕をPRして、ライオンズの仲間に加わるよう皆を誘いましょう。





"奉仕活動が
いかに大きな力を持つのか、
ライオンズがいかに重要な存在なのか
が理解できました"

奉仕に命を吹き込む

「ブラジルは世界の"肺"です」。ファブリシオ・オリベイラに、彼の母国について尋ねたら、こんな答えが返ってくるだろう。緑に覆われた大地と、それを縁取るターコイズ色の海岸線。その中の小さな町で、起業家精神旺盛な布生地商の息子として、ファブリシオは生まれた。

18歳の頃には、すでにこの家族経営の商店の一員として、平日は勉学に励みつつ、週末は商売のため各地を駆け回った。若い時から常に結果重視だったというファブリシオ。実業家として絶好調の22歳の時に、アマリスと結婚。二人が育ったカトレドホシャは四季のない熱帯気候だが、ファブリシオは全天候型、オールラウンドな男だった。ビジネスマンとしては、数々の取引を成功させ、前途洋々。市民としても、複数の公職に任命を受けるほどの成功を収める。しかし、何かが物足りなかった。

そんな彼に転機が訪れたのは、1985年のある夜だ。

当時ファブリシオとアマリスは、週末ごとにさまざまな社交行事のため集まる友人グループの一員だった。メンバー数人がすでにライオンズクラブの会員になっており、ほどなくオリベイラ夫妻にも入会の誘いがあった。断ることはとてもできなかった、とファブリシオは言う。

「親しい友人でしたから。それに、ライオンズには特別な何かがあると感じました。お世話になった地域社会に恩返しをするチャンスかもしれないと」

ファブリシオ・オリベイラとその夫人をライオンズに出会わせたのは、ほんの一度のシンプルな誘いだった。

「こうしてライオンになったことが、すべての始まりでした」とファブリシオは振り返る。

招きに応えた。社会奉仕への決意を胸に動き出した。そしていよいよ、小さな村カトレドホシャの若者が、それまでの人生で学んだことを、新たな歩みに活かす時が来た。ライオンとしての歩みだ。



すすんで前向きに生きる極意

「自然そのままの美しさがあります」。ファブリシオはブラジルについてこう言う。「それが素晴らしいのです」

しかし彼がライオンズに入会した当時、地元には清潔な用水を得られない地域があった。そこで、ファブリシオはクラブとともに行動を起こした。

こうして、地元の貧しい地域に浄水を届けるための手作りのセラミックフィルターを購入するため、必要な資金を集めたことが彼の初めての社会奉仕事業となった。この事業は地域社会に水だけでなく、それを切実に必要としていた子供や家庭に、健康、福祉、幸せをももたらしたのだった。

「素晴らしい経験でした」。ファブリシオは回顧する。「機材を持ち込んだ時、人々の喜びと笑顔が目に見えてきました。奉仕活動がいかに大きな力を持つのか、ライオンズがいかに重要な存在なのかを理解できました」

その時から振り返ることはなく、ただ前に突き進んだ。奉仕が彼を目覚めさせたかのように。

ファブリシオは、日々のライオンズ活動でも、人生から得た教訓とビジネスマンとして経験を活かしている。そして、与えれば与えるほど、得るものも多いと感じている。

「多くのことを教わりましたし、今も学び続けています」と彼は言う。「ライオンズは私の第二の大学です」

ライオンズはまた、ファブリシオにとって第二の家族ともなった。大きな可能性を秘め、他にはない前向きさにあふれる、グローバルな家族。そんな家族の先頭に立ち、リーダーを務められることを、彼は光榮に思っている。

「ライオンズは、多くの地域社会と、多くの人の人生を、大きく変えてきました。私の人生も例外ではありません」

ファブリシオが新会員の勧誘と新クラブの結成に力を入れる理由はここにある。自分が感じているのと同じやりがい、同じ充足感を、より多くの人にも体験してほしいからだ。

ファブリシオ・オリベイラは、これからもライオンであり続ける。また、実業家としての視点から考え続ける。だからこそ、彼は確信する。物事の主導権は、それを掴む者のところにやってくる、と。私たちには、偉大なことを成し遂げる力があるが、同時に偉大なことを成し遂げる責任も負っている、と。

そして、私たちが才能とスキルを地域社会の変革に役立てれば、世界に永続的な足跡を — 私たちの足跡を — 残すことができる、と。

2024～2025年度 地区ガバナー所信

地区ガバナー 古川 繁 浩

調和への道標 ～魂に灯をともせ～

現代は急速に変化し、未知の課題に直面する時代です。テクノロジーの進歩が社会を塗り替え、地球規模の課題が私たちの前に立ちはだかります。様々な場面で、強固な結束と協力が求められています。その中で、新たな未来への計画と、何よりも調和が不可欠です。

ライオンズクラブは地域社会において灯台のように輝き続けなければならない存在です。私たちの使命は、変化に適応し、人道的なサービスを通じて社会に希望と奉仕の手を差し伸べることです。未来へのビジョンと情熱をもって、共に歩む仲間として、ライオンズクラブの価値観をより一層高めていきましょう。

私の生まれ育った堺には、洋式木造灯台の中で最も古いものの一つである旧堺灯台があります。この灯台は古くから船乗りたちにとって、安全な航海の指針であり続けました。私たちの奉仕活動も同様に人々を照らし、助け続ける存在でなければなりません。私たちは自身が模範となり、ライオンズクラブの価値観を実践し、困難な状況にある人々の暗闇を明るく照らす手助けをすると同時に、多くの人々に影響を与え続けなければなりません。

ライオンズクラブのメンバー、一人一人が地域の灯台となるよう、私は自身が灯台となって光を灯し続けます。地域のニーズを的確に把握し、協力して解決策を見つけ出す事が、多くの人々に希望をもたらすことにつながります。明るい未来への道標を示すため、多くの異なる分野での活動を通じて人々が調和することが今最も重要な事だと考えています。

地区ガバナー基本理念 五つの道標

① 自己確立

「己こそ己の寄る辺」の精神を胸に、自己を確立し自己啓発を積極的に追求します。我々ライオンは自己の成長と進化を重視し、地域社会への奉仕活動を提供するために、絶えず学び続け、人間力を高め、貢献の道標となります。

② 自他共楽

「半ばはわが身の幸せを、半ばは他人の幸せを」を実践していきましょう。自己の成長と進化したライオンが貧困に苦しむ人々や世界中で勃発する紛争・災害に対応し、多くの人々に幸せで楽しく明るい社会を共に築き上げましょう。

③ 和を以って貴しとなす

「和を以って貴しとなす」の精神を大切に、協力と連帯を奨励します。地域社会における様々な価値観や文化を尊重し、共に協力して困難を克服することを行動の基盤とします。この「和」とは調子を合わせる「同調」ではなく、互いを尊重する「協調」を意味します。また、異なった文化や価値観の違う人々を同じ輪の中に入れることをも意味します。調和の心が私たちを結び付け、より良い未来への道標となります。

④ 原因と結果の法則

良い原因は良い結果を生み出し、悪い原因は悪い結果をもたらします。私たちは「原因と結果の法則」を理解し、我々の行動が地域社会にどのような影響を及ぼすかを考慮します。我々の行為が良い結果を生むことを期待し、より良い未来に種を蒔くことを使命とします。外部の「結果」は、すべて内部にある「原因」によって作られます。私たちの行動は、内面にある「良き想い」から生まれるのです。「良き想い」を指針とし、未来への道標を示します。

⑤ 三方良し

「三方良し」とは、売り手良し、買い手良し、世間良しです。すべての関係者が利益を享受し、調和が実現される状態を指します。売り手「Lions」、買い手「受益者」、世間「社会」の協力とバランスの原則を示しています。「三位一体」の考えや太陽・地球・月との関係、支点・力点・作用点の関係など「3」と言う数字は調和を保つ重要性を強調しています。バランスを取ることが自然界や人間社会において持続可能な繁栄を実現する鍵である事を示しています。対立を三方よしに変える道標を描きましょう。

ガバナーピンの想いⅠ



調和への道標
～魂に火をともせ～

◇私の生まれ育った堺には洋式木造灯台の中で最も古いものの一つである旧堺の灯台があります。この灯台は古くから船乗りたちにとって、安全な航海の指針であり続けました。私たちの奉仕活動も同様に人々を照らし、助け続ける存在でなければなりません。私たちは、自身が模範となり、ライオンズクラブの価値観を実践し、困難な状況ある人々の暗闇を明るく照らす手助けをすると同時に多くの人々に影響を与え続けなければなりません

ガバナーピンの想いⅡ



調和への道標
～魂に火をともせ～

ライオンズクラブのメンバー、一人一人が地域の灯台になるよう、私は自身が灯台となって光を灯し続けます。地域のニーズを的確に把握し、協力して解決策を見つけ出す事が、多くの人々に希望をもたらす事につながります。明るい未来へ道標を示す為、多くの異なる分野での活動を通じて人々が調和する事が今最も重要な事だと考えています。

重点項目 (プロジェクト目標)

1. 会員拡大10%を見据えた新クラブ・新支部結成
2. 地域の特性を活かした新しいアクティビティの実施
3. 新会員の交流と次世代を担うリーダーの育成
4. LCIF の重要性を高めLCIFからのサポートを最大化する

① 会員拡大10%を見据えた新クラブ・新支部結成

- ・ ミッション1. 5ミリオンに向けた全ての会員籍の増強
- ・ 新クラブ・新支部の結成

MISSION 1.5

ミッション1. 5(ワン・ポイント・ファイブ)

2027年7月1日までに、ライオンズクラブ国際協会は全世界合計会員数150万人(ワン・ポイント・ファイブ・ミリオン)を達成する。

- すべての会則地域で2026-2027年度までに会員純増を達成する。
- すべての地区で、新クラブを結成する。
- Mission1.5期間中に、すべてのクラブが新会員を迎える。
- すべての地区は、女性や若手会員を含め、より多様な会員を迎え入れるための戦略を策定する。

② 地域の特性を活かした新しいアクティビティの実施

一度奉仕の原点に立ち戻り、地域ニーズのある奉仕を、クラブで考えてみませんか？

若手の声もどんどん取り入れ、クラブ例会でメンバー全員で考えてはどうでしょう。

たとえば、「クラウド・ファンディング」「チャリティー・オークション」「市民参加型資金獲得事業」など、他の方法は考えられないのでしょうか？

② 地域の特性を活かした新しいアクティビティの実施

「ニーズのある所にライオンズ」

『喜びの顔が見れる奉仕活動』をテーマに
継続事業の見直し、時代に沿った今ライオンズが、求められているものは、何か？

SNSで奉仕活動を拡散・市民参加型のアクティビティ

各団体、行政等との協働できるアクティビティ

2024/7/16

③ 新会員の交流と次世代を担うリーダーの育成

- 1) クラブ会長・幹事・クラブの重鎮が費やす最良の時間は
新会員に投じる時間である。(新会員に寄り添う) クラブでのメンティー・メンターの確立を充実させ若手会員の人材育成に努める
(地区のGLT委員・ZC・RCとの協力)
- 2) 会員満足度向上 ハーモニーカードを利用した他クラブとの交流を図る事により自クラブ活性につなげる。
- 3) 地区・RC・ZCの協力により若手交流会の開催など 積極的に交流会を実施する。

④ LCIF の重要性を高めLCIFからのサポートを最大化する



- ・ライオンズクラブ国際協会とLCIFが両輪で廻っている認識
- ・MJFの推進
- ・ハーモニー100キャンペーンへの全クラブの参加・推進
- ・シェアリング交付金の活用